



## ビデオ エンドポイント管理

- [ビデオエンドポイント管理の概要 \(1 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイント管理機能の互換性 \(2 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイントのプロビジョニングと移行の懸念事項 \(4 ページ\)](#)
- [ビデオエンドポイント移行レポート \(5 ページ\)](#)
- [プロビジョニングと移行のシナリオ \(6 ページ\)](#)

### ビデオエンドポイント管理の概要

この機能により、管理者が Cisco TelePresence ビデオ エンドポイントをプロビジョニングおよび管理する作業が簡単になります。管理者は、Unified Communications Manager の Cisco TelePresence エンドポイントの設定をプロビジョニングし、それらの製品固有の設定をエンドポイントにプッシュできます。

12.5 (1) SU1 より前のリリースでは、製品固有の設定の一部だけが Unified Communications Manager からエンドポイントにプッシュされ、その結果エンドポイントの部分的な設定になりました。管理者は、すべての設定を構成するために、Cisco TelePresence Management Suite またはテレプレゼンス エンドポイントの ウェブ インターフェイスに依存する必要がありました。Unified Communications Manager の [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウには、エンドポイントでのユーザの表示内容と一致する Cisco TelePresence エンドポイントの完全な製品固有の設定レイアウトが含まれています。この更新により、管理者はユーザの代わりに設定を適用し、それらの設定をユーザにプッシュすることができます。



- (注) 一括管理ツール(BAT)電話テンプレートの設定ページには、エンドポイントパラメータの完全なリストをサポートする、新しいモデル固有の設定がタブレイアウトで表示されます。パラメータのセット全体をインポートしたり、エンドポイントの特定のパラメータを一括して変更したりできます。

ビデオ エンドポイント管理機能には、次の利点があります。

- テレプレゼンス エンドポイントは、Unified Communications Manager から完全にプロビジョニングできます。Unified Communications Manager のユーザ インターフェイスにリストさ

れているエンドポイント パラメータは、Cisco TelePresence モデルの詳細設定に記載されている順序と同じ順序になっています。さまざまな詳細パラメータの詳細については、コラボレーションエンドポイントの管理者ガイドのそれぞれのモデルを参照してください。

- **新しい製品固有の設定レイアウト:** 新しいレイアウトでは、タブレイアウトのモデル固有の設定が詳細に表示されます。これは、限られたパラメータセットのみにアクセスを提供した以前の flat 形式からのアップグレードです。新しいレイアウトにより、Cisco Unified CM の管理インターフェイスで Cisco TelePresence 設定の完全なリストが確保されます。
- **ビデオ エンドポイントからの設定データの自動移行:** これにより、エンドポイントから Unified Communications Manager、またはその逆のデータを自動的に同期することによって、エンドポイントの導入が簡素化されます。エンドポイントの設定は、工場出荷時の設定にリセットした場合、または製品が & amp; 交換 (RMA) を交換する場合に完全に復元できます。



(注) コラボレーション エンドポイント (CE) ソフトウェア 9.8 以降をサポートするエンドポイントは、[電話の設定 (Phone Configuration)] ページの製品固有の設定フィールドにこの新しいプロビジョニングレイアウトを使用できます。9.8 よりも前の CE ソフトウェア バージョンを使用している場合は、新しい詳細パラメータのセットをすべて表示できます。ただし、新しいパラメータのセットは、CE ソフトウェア バージョンを 9.8 以降にアップグレードした場合にのみ機能します。サポートされているパラメータのサブセットには、ユーザインターフェイスの各パラメータ値の右側に「#」が付けられています。デバイス タイプが新しいプロビジョニングフレームワークをサポートできる場合は、デバイス パックを Unified Communications Manager にロードする必要がありますが、その他のパラメータは表示されません。

## ビデオエンドポイント管理機能の互換性

次の表に、Unified Communications Manager とコラボレーションエンドポイント (CE) バージョンとのビデオエンドポイント管理機能の互換性の詳細を示します。

Unified Communications Manager のバージョン	CE エンドポイントバージョン	予期される動作
12.5 (1) SU1	9.8 以降	<p>12.5 (1) SU1 より前に追加されたデバイス:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 正常にバックアップされたデバイスの詳細設定 UI (タブレットアウト)</li> <li>• まだバックアップされていないデバイスに対して、限定的な設定 UI (フラットアウト)</li> </ul> <p>UI/BAT/AXL によって新しいデバイスが追加されました:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 詳細設定 UI</li> </ul> <p>(注) CE 9.8 以降を実行することを強くお勧めします。</p>
12.5 (1) SU1	9.7 以下	<p>12.5(1) SU1 以前に追加されたデバイス:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 限定的な設定 UI</li> </ul> <p>UI/BAT/AXL を介して追加された新しいデバイス:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 限定されたパラメータのセットのみを有効にした高度な設定 UI</li> </ul> <p>(注) CE 9.7 以前を使用した移行では、移行中に既存のエンドポイント設定を維持することはできません。移行されたデバイスが登録されると、Unified CM は既存の設定をデフォルト設定で上書きします。</p>
12.5 (1) 以下	9.8 以上	制限された構成 UI

# ビデオ エンドポイントのプロビジョニングと移行の懸念事項

## Unified Communications Manager アップグレード後のバックアップ

Unified Communications Manager 12.5 (1) SU1 にアップグレードすると、サポートされているエンドポイントタイプの既存の設定データがエンドポイントから Unified Communications Manager に自動的に移行されます。

1. Unified Communications Manager を、バージョン 12.5(1)SU1 以降にアップグレードします。
2. エンドポイントは、Unified Communications Manager に登録されます。
3. 次に、Unified Communications Manager は、製品固有の設定パラメータの完全なセットを要求する SIP Notify メッセージをエンドポイントに送信します。
4. CE 9.8 以降にアップグレードされたエンドポイントは、SIP REFER メッセージを使用して、すべての設定データを Unified Communications Manager (xConfiguration 形式) に送信します。
5. Unified Communications Manager は、この設定データを処理し、Cisco Unified CM の管理インターフェイスの Cisco TelePresence 設定 (詳細設定 UI) の完全なリストを入力します。



- 
- (注) Unified Communications Manager サーバは、Unified CM がエンドポイントからデータを正常にバックアップできる場合にのみ、新しいレイアウトの完全なエンドポイント設定を表示します。
- 

## 構成制御モード

管理者は、導入の必要に応じて、Cisco Unified CM の管理インターフェイスでさまざまな設定制御モードを設定できます。エンドポイントまたは Unified Communications Manager またはその両方から設定を一元的に制御するかどうかを決定できます。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ページの製品固有の設定レイアウトセクションに移動し、[その他 (General)] タブの [一般設定 (General Settings)] で「設定制御モード」を選択して、さまざまなモードを制御します。次に、さまざまな設定制御モードを示します。

- **Unified CM and Endpoint (デフォルト)** : Unified Communications Manager とエンドポイントをプロビジョニング エンドポイント データに対してマルチプライム ソースとして操作する場合はこのモードを選択します。Unified CM とエンドポイントが設定されたモードである場合、エンドポイント経由でローカルに作成された更新はすべて、Unified CM サーバと同期されます。

- **[Unified CM]** : Unified Communications Manager をプロビジョニング エンドポイント データの中央化プライマリ ソースとして操作し、ローカルのエンドポイントでの設定を許可しない場合は、このモードを使用します。
- **[エンドポイント (Endpoint)]** : エンドポイントを設定データの中央化プライマリ ソースとして操作する場合は、このモードを使用します。このモードでは、エンドポイントは、Unified Communications Manager からの設定データをすべて無視し、ローカルで実行された変更を同期しません。通常、このモードは、Audiovisual (AV) インテグレーターがエンドポイントをインストールしており、エンドポイントからの設定を制御する場合に使用されます。



- (注) エンドポイントモードでは、CE デバイスは、リリース 12.5 (1) SU1 よりも前にサポートされるパラメータの制限されたセットを受け入れ続けます。Unified Communications Manager は、「#」記号を使用してこれらのパラメータを示します。CE デバイスは、12.5 (1) SU1 リリース以降でサポートされている拡張パラメータのセットを無視します。

#### オンデマンド設定プル機能

管理者は、[電話から設定を取得 (Get Config From Phone)] オプションを使用して、所定の時点でオンデマンドで、CE 9.8 エンドポイントデバイスから設定変更を取得できます。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ページの製品固有の設定レイアウトセクションに移動し、ページの左上にある [電話から設定を取得 (Get Config From phone)] ボタンをクリックして、CE 9.8 エンドポイントのオンデマンドでデータ設定を取得します。このオプションは、エンドポイントが登録済み状態の場合にのみ有効になります。

## ビデオ エンドポイント移行レポート

拡張設定バックアップを使用したビデオエンドポイントは、リリース 12.5 (1) SU1 の [電話の検索/一覧表示 (Find And List phone)] ウィンドウに新しいフィルタが導入されました。管理者は、自動的に移行された CE エンドポイントの数と、CE エンドポイントの数に関する詳細を検索できます。この情報に基づいて、修正措置を講じることができます。



- (注) [電話の検索/一覧表示 (Find and List Phone)] ウィンドウでは、拡張設定バックアップフィルタを使用したビデオエンドポイントは、コラボレーションエンドポイント (CE) ソフトウェア 9.8 以降を実行しているビデオエンドポイントにのみ適用されます。

## プロビジョニングと移行のシナリオ

次の表では、さまざまなプロビジョニングと移行のシナリオについて説明します。これらのすべてのシナリオでは、TelePresence ビデオ エンドポイントは、Unified CM からの製品固有設定プロビジョニングをサポートする CE リリースにアップグレードされることを前提としてます。Unified CM では、これらの設定は製品固有の設定セクションに表示されますが、エンドポイントでは [詳細設定 (Advanced Configuration)] の下に表示されます。

表 1: ビデオ エンドポイントのプロビジョニングと移行のシナリオ

タスク	既存の設定の概要	対処方法
ビデオエンドポイントのプロビジョニング	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しいデバイスのブランド</li> <li>デバイスが Unified CM でプロビジョニングされていません</li> <li>デバイスまたは Unified CM の既存の設定がありません</li> </ul>	最小リリース 12.5 (1) SU1 および CE エンドポイント (9.8) で Unified CM を使用すると、新しいエンドポイントをプロビジョニングし、統合 CM から製品固有の設定を管理できます。

タスク	既存の設定の概要	対処方法
VCSからの既存のビデオエンドポイントの移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存デバイス</li> <li>• デバイスが Unified CM でプロビジョニングされていません</li> <li>• デバイスは設定されていますが、Unified CM には設定がありません</li> </ul>	<p>既存のビデオ エンドポイントを Cisco TelePresence ビデオ通信サーバから Cisco Unified Communications Manager に移行する場合は、次のようにします。</p> <p><b>Unified CM の [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウを使用した電話機の追加:</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 電話機を Unified CM に追加しますが、<b>[保存 (Save)]</b> をクリックしないでください。</li> <li>• 電話の登録登録後、電話機からの既存の高度な設定は、Unified CM にアップロードされ、<b>[電話の設定 (Phone Configuration)]</b> ウィンドウで<b>[製品固有の設定 (Product-Specific Configurations)]</b>に表示されます。</li> <li>• <b>[電話の設定 (Phone Configuration)]</b> ウィンドウで<b>[保存 (Save)]</b> をクリックして新しい設定をします。プロビジョニングされた設定が電話機にダウンロードされます。</li> </ul> <p>詳細な手順の参照先：<a href="#">Unified CM へのビデオ エンドポイントの移行の追加 (8 ページ)</a></p> <p><b>一括管理による電話機の追加</b></p> <p>プロビジョニングに使用する csv ファイルまたは BAT テンプレートに、製品固有の設定フィールドが含まれていないことを確認してください。</p> <p><b>AXL を介した電話機の追加</b></p> <p>AXL 要求に、製品固有の設定フィールドが含まれていないことを確認してください。</p>
登録済みビデオエンドポイントを使用した、以前のリリースの Unified CM からのアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存デバイス</li> <li>• デバイスは、12.5 より前のリリースの Unified CM でプロビジョニングされません。</li> <li>• Unified CM には、デバイスの製品固有の構成時の設定が限定されています。</li> </ul>	<p>CE エンドポイントがサポートされているバージョンである限り、Unified CM をアップグレードすると、エンドポイントからの<b>詳細設定</b>は、デバイスの登録後に自動的に Unified CM に取り込まれ、<b>[電話の設定 (Phone Configuration)]</b> ウィンドウの<b>[製品固有の設定 (Product-Specific Configuration)]</b> セクションに表示されます。</p> <p>登録後に、必要なすべての設定に加えて、<b>設定制御モード</b>を設定できます。</p>

## Unified CM へのビデオエンドポイントの移行の追加

既存の Cisco TelePresence ビデオエンドポイントを Cisco TelePresence ビデオ通信サーバから Unified Communications Manager に移行する場合は、この手順を使用して、エンドポイントからの既存の高度な設定を、Unified CM の [電話の設定 ( **phone configuration** )] ウィンドウから管理できるように、[電話の設定 ( **phone Configuration** )] ウィンドウから Unified CM に CE エンドポイントを追加



(注) この手順に厳密に従ってください。エンドポイントからの設定は、デバイスの登録後まで、Unified CM に自動的にアップロードされません。



(注) この手順では、Unified CM [ **Phone Configuration (Phone Configuration)** ] ウィンドウで [ **テンプレートの新規追加 (Add New from Template)** ] 設定を使用します。また、Bulk Administration や AXL などのツールを使用してエンドポイントを追加することもできます。

### 始める前に

移行する前に、ファームウェアを CE 9.8 以降にアップグレードすることを強くお勧めします。CE 9.7 以前では、デフォルト設定を使用した登録時に、Unified CM によって既存のエンドポイント設定が上書きされます。

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、[ **デバイス (Device)** ] > [ **電話 (Phone)** ] を選択します。

**ステップ 2** [ **テンプレートから新規追加 (Add New From Template)** ] をクリックし、次の電話機の詳細を入力します。

- [ **電話の種類 (Phone Type)** ] ドロップダウンリストから、[ **モデル (Model)** ] を選択します。
- エンドポイントの **MAC アドレス** を入力します。
- [ **デバイス テンプレート (Device Template)** ] ドロップダウンリストで、[ **ユニバーサルデバイス テンプレート (universal device template)** ] を選択します。
- 電話機に追加する **電話番号** を選択します。存在しない場合は、[ **新規 (New)** ] をクリックして電話番号を設定します。
- [ **ユーザ (user)** ] ドロップダウンリストから、デバイスを所有するユーザを選択します。

**ステップ 3** [ **追加 (Add)** ] をクリックします。電話機の設定が、電話の設定を入力するユニバーサルデバイス テンプレートの設定とともに **表示** されます。製品固有の設定セクションも表示されますが、デフォルト設定では電話機の既存の設定ではありません。



(注) [ **Phone Configuration** ] ウィンドウの [ **add New** ] を使用してデバイスを追加することもできますが、この方法では、手動で設定を入力する必要があります。

**ステップ 4** [ **保存 (Save)** ] をクリックしないでください。設定を保存すると、Unified CM は電話機から既存の設定をロードしません。誤って保存した場合は、この手順の最後にあるトラブルシューティングの注意事項に従って回復手順を実行してください。

**ステップ 5** 電話の登録

登録中は、電話の既存 **Advanced Configuration** 設定が、Unified CM にプルされ、[ **電話の設定 (Phone Configuration)** ] ウィンドウの [ **製品固有の設定 (Product-Specific Configuration)** ] セクションに表示されます。

**ステップ 6** [ **電話の設定 (Phone configuration)** ] ウィンドウで、[ **設定 (configuration)** ] [ **制御モード (Mode)** ] フィールドを設定して、エンドポイント設定を管理する方法を設定します。

- **Unified CM and Endpoint (デフォルト)** : Unified Communications Manager とエンドポイントをプロビジョニング エンドポイント データに対してマルチプライム ソースとして操作する場合はこのモードを選択します。Unified CM とエンドポイントが設定されたモードである場合、エンドポイント経由でローカルに作成された更新はすべて、Unified CM と同期され、Unified CM に加えられたすべての変更はエンドポイントと同期します。
- **Unified CM** : Unified Communications Manager をプロビジョニング エンドポイント データの中央化プライマリ ソースとして操作し、ローカルのエンドポイントでの設定を許可しない場合は、このモードを使用します。
- **エンドポイント (Endpoint)** : エンドポイントを設定データの中央化プライマリ ソースとして操作する場合は、このモードを使用します。このモードでは、エンドポイントは既存の設定を維持し、Unified Communications Manager からの設定データをすべて無視し、ローカルに行われた変更を同期しません。通常、このモードは、Audiovisual (AV) インテグレーターがエンドポイントをインストールしていて、エンドポイントから設定を制御する必要がある場合に使用されます。

(注) エンドポイントで既存の設定を維持する場合は、エンドポイントが完全な登録プロセスを完了するまで、少なくとも **エンドポイントモード** を選択することをお勧めします。この手順を完了した後、設定を他のモードのいずれかに切り替えることができます。

**ステップ 7** 必要な電話機の設定を行います。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

**ステップ 8** [ **保存 (Save)** ] をクリックします。

Unified Communications Manager でプロビジョニングされた設定がエンドポイントにダウンロードされます。



---

(注) デバイス登録の前に **[電話の設定 (Phone Configuration)]** ウィンドウで誤って **[保存 (Save)]** をクリックした場合、エンドポイントからの既存の**詳細**設定は、デバイスの登録時に Unified CM にロードされません。回復するには、デバイス登録の前に次の手順を実行します。

- Unified CM で、**設定制御モード**をエンドポイントに設定し、**[保存 (Save)]** をクリックします。
  - 電話機を Unified CM に登録します。
  - 登録後、**[電話の設定 (Phone configuration)]** ウィンドウのデバイス設定に戻り、**[デバイスから設定を取得 (Get Config from device)]** ボタンをクリックします。この設定によって、電話機の既存の**高度な**設定が、Unified CM に取り込まれるようになります。このボタンは、デバイスの登録後まで表示されないことに注意してください。
  - 設定を完了するには、手順のステップ6に戻ります。
-

## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。